

笑う門には 福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL (089) 946-3911
発行人: 中村 剛志

明朗・愛和・喜働



七夕にきらめく星
今から約千二百年も前にまとめられた『万葉集』に、七夕を詠んだ歌が百三十首余りあります。七夕は、古くからの行事であることがわかります。

天の川 楫の音聞こゆ 彦星と織姫と 今夜会うらしも
たなはたつめ こよいあ

歌の意味は、「天の川に楫の音が聞こえる。彦星と織姫星が今夜会うに違いないことよ」です。星空へ抱くロマンスは、昔も今も変わらないようです。ところで、七夕を新暦の七月七日に行なうと、梅雨の真っ最中となってしまう、晴れる確率は二十数%しかありません。しかし、旧暦で行なえば、一カ月ほど遅くなるため、晴れる確率は五十数%と高くなります。

天の海に 雲の波立ち 月の船
星の林に 漕ぎ隠る見ゆ

これは、「広々とした大空の海に雲の波が立って、月の船がたくさん星の林の中に漕ぎ隠れて行くのが見えることだ」と、船の形をした上弦の月が、天の川を渡る様を歌っています。夏の夜には星空を見上げて、星の光を愛でてみましょう。

●夏の夜空を見上げましょう

「職場の教養」より

秋田 緑の言の葉カード

「始める時より
間違いを認め
引き返す時の方が
ずっとパワーと
勇気が要るよ。」
だもんだ！
やるべし！
やれるんだ！

★「言の葉ネットショップ」から購入できます。
<http://greenti.shop-pro.jp>

宇和ちゃんの啖呵!!短歌

紺碧の海に離島を二つ三つ
置きて御荘の空に雲なし

オリンピック

五輪の工事優先するために
復興遅らす「復興五輪」

保親さんの人生万感

大国の狭間に生きたブータンは
経済よりも幸福めざす

星空が手に届きそうだ

幼き日故郷で見た星空がここに



○ふと気付いたことを大切に

何かがひらめく、何かが心に浮かぶのは神から
教えられているのです。気付くまま手を打ちましょう。

道しるべ

坂村真民記念館(砥部町)